

年 表

京都府立医科大学

西暦(元号)	京都府立医科大学のあゆみ
★療病院創立まで(胎動期)	
1839 (天保10)	新宮涼庭、西洋医学塾順正書院を創立
1865 (慶応元)	新宮涼閣、明石 博高(あかしひろあきら)ら医学研究会を興す
1868 (明 元)	医学研究会の建議により御苑内施薬院に西洋医学の病院を開設
1869 (明 2)	
★療病院から京都府立医学校まで(創設期)	
1871 (明 4)	明石 博高らの奔走により、市内著名寺院の住職が連名で療病院建設願を府に提出。府、療病院建営を決める
1872 (明 5)	療病院教師としてドイツ人医師ヨンケル着任(明治9年5月まで) 栗田口青蓮院内に京都療病院設置。医学教育開始(この年をもって本学創立の年とする)
1873 (明 6)	庶務取締兼通弁として半井澄(なからいさやか)が着任
1874 (明 7)	療病院でわが国初の医術開業試験実施
1875 (明 8)	河原町広小路の現在地に京都療病院・医学校の新築工事起工(市民が工事に奉仕) 癲狂院設置(わが国初の公立精神病院。南禅寺内に置く。)
1876 (明 9)	療病院教師としてマンスフェルトが着任(オランダ人。明治10年8月まで) 半井澄が初代療病院長に就任(明治19年6月まで)
1877 (明 10)	療病院教師としてショイベが着任(ドイツ人。明治14年12月まで)
1879 (明 12)	療病院内に医学予科校(4年制)・京都療病院医学校(4年制)を付置 京都療病院医学校初代校長に萩原三圭が就任 河原町広小路の現在地に京都療病院医学校竣工
1880 (明 13)	河原町広小路の現在地に京都療病院竣工
1881 (明 14)	京都療病院医学校、独立して京都府医学校(5年制)となる
1882 (明 15)	京都府医学校一等教諭として猪子止戈之助(いのこしかのすけ)が着任 京都府議会で京都府医学校費が否決される(明治15年9月内務卿の裁定で医学校の維持を府会で承認) 京都府医学校、甲種医学校(4年制)に認定 京都療病院が京都府立療病院と改称
1884 (明 17)	京都府医学校第1回卒業式挙行(12名卒業) 第1回解剖体大法会執行
1885 (明 18)	
1887 (明 20)	猪子止戈之助が京都府医学校長兼京都府立療病院長に就任(明治31年7月まで)

125年のあゆみ

附属病院のあゆみ	主な社会の出来事
1868	京都府発足 西洋医学の採用を布告
1869	東京遷都 太政官岩倉具視蘭医ボードウィンを大阪浪華仮病院に招聘
1871	舎密局（理化学試験所）設置 政府の招聘により大学東校へドイツ医ミュレル、ホフマン着任
1875	第2代府知事に横村正直就任(明治14年1月まで) 同志社英学校開設
1876	京都・大阪間に鉄道開通
1877	西南の役勃発 東京医学校、東京大学医学部に改組 博愛社（日本赤十字社の前身）設立
1879	第1回京都府議会開催（初代議長山本覚馬） コレラ大流行
1884	婦人の医術開業が許可される（明治18年3月荻野吟子わが国初の女医となる。）
1885	日出新聞（京都新聞の前身）創刊 琵琶湖疎水工事起工 内閣制度発足（伊藤博文内閣誕生）

西 暦 (元 号)	京 都 府 立 医 科 大 学 の あ ゆ み
1888 (明 21)	京都府議会で独立採算制による医学校存続を決定（地方税での医学校費支弁を禁止される。）
1889 (明 22)	附属産婆教習所（修業年限1年）付置
1890 (明 23)	
1894 (明 27)	
1895 (明 28)	
1896 (明 29)	附属看護婦教習所（修業年限2年）付置 校友会結成
1899 (明 32)	京都府医学校校友会医学図書館が発足
1900 (明 33)	島村俊一京都府医学校長に就任 京都府議会で京都府医学校存続を1票差で可決（京都帝国大学に多数の人材転出のため）
★京都府立医学専門学校の時代（発展期）	
1901 (明 34)	京都府立医学校と改称
1902 (明 35)	
1903 (明 36)	京都府立医学専門学校（4年制）と改称。府立療病院を附属病院と改称
1904 (明 37)	
1906 (明 39)	
1909 (明 42)	
1911 (明 44)	
1914 (大 3)	10か年継続事業の校舎・病院大改築工事完了
1915 (大 4)	
1918 (大 7)	
1920 (大 9)	大学昇格認可申請書の提出を府会で難航の末、可決
★京都府立医科大学として	
1921 (大 10)	京都府立医科大学（7年制・入学定員80名）に昇格。初代学長に小川差五郎が就任 創立50周年記念式典・大学昇格祝賀式典が11月1日に挙行（これ以後11月1日を創立記念日とする）
1922 (大 11)	大將軍鷹司町に予科校舎（5月）、花園分院（7月）竣工
1923 (大 12)	「学術集談会」発足
1925 (大 14)	大学新館（旧学生部棟）竣工
1926 (大 15)	校友会の京都医学図書館が大学に移管され中央図書館となる。
1927 (昭 2)	京都府立医科大学第1回卒業式を挙行（卒業生27名）
1929 (昭 4)	中央図書館棟竣工
1931 (昭 6)	
1937 (昭 12)	

附属病院のあゆみ	主な社会の出来事
1889	大日本帝国憲法制定 京都市誕生（市制，町村制施行） 東海道本線（新橋・神戸）全線開通
1890	第1回衆議院議員総選挙実施 第1回帝国議会開会
1894	日清戦争勃発
1895	京都でわが国初の市街電車が開通
1899	京都帝国大学に医科大学設置（同年11月に附属医 院開設）
1900	私立京都法政学校（立命館大学の前身）設立
1902	京都府医師会設立
1904	日露戦争勃発
1906	医師法・歯科医師法公布
1909	島津製作所，医療用レントゲン装置完成
1911	恩賜財団済生会設立
1914	第一次世界大戦勃発（大正7年11月終結）
1915	北里研究所開設
1918	米騒動勃発
1920	第1回国勢調査実施（府128万7147人，京都市59万 1323人）
1922	学年の開始9月から4月に変更
1925	ラジオ放送開始
1931	満州事変勃発
1937	日支事変（日中戦争）勃発

西 曆 (元 号)	京 都 府 立 医 科 大 学 の あ ゆ み
1939 (昭 14)	
1940 (昭 15)	学歌「比叡は明けたり」制定
1941 (昭 16)	
1944 (昭 19)	附属女子専門部設置 財団法人伏見病院の寄付を受け、附属女子専門部附属医院（通称伏見分院）とする
1945 (昭 20)	
1946 (昭 21)	附属厚生女学部（助産婦科・看護婦科）設置（昭和28年3月廃止）
1947 (昭 22)	附属産婆・看護婦教習所廃止
1949 (昭 24)	附属甲種看護婦学院設置 （昭和27年4月附属看護婦学院に改称）
1950 (昭 25)	
1951 (昭 26)	大学予科，女子専門部廃止 附属医院が附属病院に改称（伏見分院が附属伏見病院と改称） 基礎1号館竣工
1952 (昭 27)	京都府立医科大学，新制大学として発足
1953 (昭 28)	附属伏見病院，伏見分院に改称
1954 (昭 29)	中央図書館，附属図書館と改称
1955 (昭 30)	京都府立医科大学，6年制（入学定員80名）大学として認可。進学課程設置 京都府立医科大学80年史刊行
1956 (昭 31)	
1957 (昭 32)	大学院医学研究科設置
1960 (昭 35)	財団法人青蓮会設立
1963 (昭 38)	診療棟（現外来診療棟）第3期工事竣工
1964 (昭 39)	附属病院にアイバンク開設 附属看護婦学院が附属看護学院と改称
1965 (昭 40)	大学入学定員100名となる 看護婦宿舍竣工
1967 (昭 42)	精神科病棟竣工，花園分院閉鎖 基礎2号館竣工
1968 (昭 43)	インターン制度廃止。臨床研修医制度発足 （本学，昭和44年11月から実施）
1969 (昭 44)	2月から学園紛争，無期限ストライキに入る 9月から授業開始
1971 (昭 46)	医療センター設置。臨床医学学舎竣工
1972 (昭 47)	創立100周年記念式典挙行。花園学舎校舎竣工

附属病院のあゆみ	主な社会の出来事												
	1939 第二次世界大戦勃発												
	1941 太平洋戦争開戦												
	1944 府立保健婦学校設立												
	1945 原子爆弾投下される ポツダム宣言受諾（終戦）												
	1946 インターン制度開始 日本国憲法公布（昭和22年5月施行）												
	1947 学校教育法公布。新学制6・3・3・4制制度												
	1949 府立西京大学（府立大学の前身）発足 湯川秀樹氏ノーベル物理学賞受賞												
	1950 朝鮮戦争勃発												
	1951 対日平和条約・日米安全保障条約調印												
	1956 府，地方財政再建団体の指定を受ける。（昭和37年3月財政再建完了）												
	1964 東海道新幹線開通 オリンピック東京大会開催												
	1968 京都府開庁100周年記念式典挙行 わが国最初の心臓移植（札幌医科大学）												
<p>病床</p> <table border="0"> <tr> <td>一般</td> <td>608</td> <td>結核</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td>伝染</td> <td>10</td> <td>精神</td> <td>118</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>762</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	一般	608	結核	26	伝染	10	精神	118	計	762			
一般	608	結核	26										
伝染	10	精神	118										
計	762												

西暦(元号)	京 都 府 立 医 科 大 学 の あ ゆ み
★京都府立医科大学100周年以降のあゆみ	
1972 (昭 47)	<p>5月 進学部長設置を決定, 藤喜教授を選出</p> <p>6月 医療センター医員, 本学教員の併任を決定</p> <p>8月 進学課程, 花園学舎改築工事竣工</p> <p>9月 京都府立医科大学附属図書館規程および利用規則の制定 医療センターより宮津保健所長(門脇助教授)および京都府衛生部医務課(第二外科原講師)へ併任医師を派遣 梨木神社境内の府買収地を青蓮会に貸与, 使用問題が難航</p> <p>11月 大学創立100周年記念祝典, 記念講演会举行</p> <p>12月 精神科の講義妨害事件発生</p>
1973 (昭 48)	<p>1月 助教授・講師を主体とするカリキュラム主任会議が発足</p> <p>2月 中村恒男学長退職, 新設滋賀医科大学へ</p> <p>4月 佐野教授学長, 亘教授学生部長に就任 学友会会長, 第2代青蓮会理事長に浜孝雄氏就任 研究部長, 進学部長の選考規程, 将来計画協議会規程制定</p> <p>5月 公衆衛生学教室構想決定(地域の健康管理に関する教育と研究を主眼, 9名定員) 服部教授進学部長に就任 特別高圧受変電設備完成 特高受変電設備 2台, 自家発電設備 1台, 以降停電が無くなる</p> <p>6月 産婦人科学教室研究室より小火災発生</p> <p>7月 藤田教授研究部長, 谷教授病院長に就任 洛東病院を医療センターに含めることを決定 図書館ニュース「橘井」を発刊</p> <p>9月 研究委員会規程を制定</p> <p>10月 100周年記念会館を荒神橋の現在地に建設することを決定 公衆衛生学教室初代教授に川井教授が就任 神経科を精神神経科に変更 臨床検査部初代教授に島田教授が就任</p> <p>11月 花園学舎体育館完成</p>
1974 (昭 49)	

附属病院のあゆみ	主な社会の出来事
<p>看護基準（昭和47年8月承認） 一般病棟 1類 結核病棟 2類 精神病棟 3類 基準給食（昭和47年8月承認） 基準寝具（昭和47年8月承認）</p>	<p>5月 沖縄復帰</p> <p>9月 日中共同声明に調印</p> <p>2月 円変動相場制に移行</p>
<p>人工透析室を開設 コバルト60照射治療装置整備 血液自動分析機器整備</p>	<p>6月 第4次中東戦争，第1次オイルショック</p> <p>10月 家族給付等が7割に引き上げ 社会保険に高額療養費支給制度創設 通勤災害に労働者災害補償保険法が適用 江崎玲於奈氏ノーベル物理学賞受賞</p>
<p>生化学自動分析機器整備</p>	

西 暦 (元 号)	京 都 府 立 医 科 大 学 の あ ゆ み
1974 (昭 49)	<p>2月 化学教室に講師を新設 (朝倉裕治) 歯科学教室に助教授を新設 (小野進一郎) 伏見分院構想：京都府衛生研究所，公害研究所とともに神経医学研究所を計画</p> <p>3月 花園学舎にグラウンド，テニスコート2面，弓道場が完成 中央研究室に専任職員3名を配置</p> <p>11月 京都府立医科大学創立100周年記念会館竣工式，余剰金で花園学舎に藤棚，教養図書整備，附属図書館に学生用図書を整備</p> <p>12月 第三内科増田教授学術会議会員に当選 微生物菅沼教授退職，名誉教授，国立舞鶴病院院長に就任</p>
1975 (昭 50)	<p>2月 脳神経外科学教室構想委員会発足 中研放射性同位元素室に専任助教授を設置 (竹田仁)</p> <p>3月 伏見キャンパス整備委員会発足 脳神経外科学教室を設置，第一外科より2名を配置換え</p> <p>4月 三谷教授進学部長に就任 脳外科学教室開設，遠山助教授が教室責任者 与謝の海病院起工式 脳神経外科外来開設</p> <p>5月 滝川知事と教授会の懇談会開催 化学実習単位に関する学生の抗議行動</p> <p>6月 第3代外人教師，Botho Scheubeの孫，Hans Georg Scheube氏が来学 洛東病院副院長に浮田助教授を決定 泌尿器科学教室小田教授が逝去</p> <p>7月 米澤教授研究部長に就任 第二解剖学教室井端教授就任 橋本教授が病院長に就任</p> <p>10月 大日山の大学墓碑を改修</p> <p>11月 新学長選考規程案を大学構成員に提示</p> <p>12月 新学長選考規程を決定 (教員による推薦選挙により学長候補者を決定，教員，職員および学生による信任投票を経て，教授会で選出)</p>
1976 (昭 51)	<p>4月 佐野教授学長再選，伊地知教授医療センター長に就任 学友会会長，第3代青連会理事長に中村文雄名誉教授就任 伏見分院計画：第1期外来部門の整備，第2期神経関係部門の整備，第3期研究部門の整備案を作成</p>

附属病院のあゆみ	主な社会の出来事
<p>2月 修練医90名採用決定</p>	<p>2月 京都市65歳以上の老人医療費無料化</p> <p>3月 長田野工業団地完成</p> <p>7月 国鉄湖西線全線開業</p> <p>10月 佐藤栄作氏ノーベル平和賞受賞</p>
<p>生化学自動分析機器整備</p> <p>2月 暫定託児施設を開設（17号病棟，収容数30名）</p>	
<p>4月 医療酸素配管工事の段階的開始</p>	<p>4月 第19回医学会総会 ベトナム戦争終結</p>
<p>8月 「特2類（一般病棟）」看護基準の承認</p>	<p>10月 国民健康保険に高額療養費支給制度創設 国勢調査（府人口 242万4856人，65歳以上人口 9.0%） 平均寿命（全国）男71.73歳，女76.89歳</p>
<p>2月 研修医募集人員，70名</p>	<p>3月 国鉄山陰本線（京都一二条間）高架開通</p>

西 暦 (元 号)	京 都 府 立 医 科 大 学 の あ ゆ み
1976 (昭 51)	<p>5月 受託研究取り扱い要領を作成，施行 同位元素検査室整備工事着工</p> <p>6月 電話工事（ビル電話に切り替え200回線を400回線に），R I 実験設備の整備 学友会の府・市民を対象とした公開医学健康講座開催</p> <p>9月 附属看護学院が附属看護専門学校と改称</p> <p>10月 佐野学長ドイツアカデミー会員に，記念講演会を開催 伏見分院改築工事および看護学院（大学門の南側）起工式</p> <p>11月 谷教授，京都済生会病院院長に就任 学友会館に双陵健児像が建つ</p> <p>12月 昭和57年度より共通一次試験に参加を決定</p>
1977 (昭 52)	<p>2月 入学願書の本籍地を都道府県名のみ記入に変更 山沢教授学生部長，桑垣教授進学部長に就任</p> <p>3月 上水源を井戸水から市水道に切り替える</p> <p>4月 看護専門学校の定員を100名に増加 職員の不祥事件（患者から転室謝礼金受け取り）につき調査団を設置</p> <p>6月 図書館長選考規定の改訂 週休2日制を試行</p> <p>7月 永田教授図書館長に就任 病舎冷房設備計画（第1次） 水越治教授が病院長に就任</p> <p>9月 医大祭の名称がトリアス祭に変更 学生ホールを大学の経費及び学友会からの寄付により整備 府衛生公害研究所が伏見分院の南の敷地に建設決定。神経医学研究所は神経内 科を中心とした研究所を計画</p> <p>10月 学生大会，8年ぶりに開催</p>

附属病院のあゆみ	主な社会の出来事
<p>6月 附属病院伏見分院改築工事着工 伏見分院入院施設休止</p> <p>8月 高額療養費の自己負担限度額が39,000円となる。</p>	<p>7月 南北ベトナム統一 ロッキード事件で田中前首相が逮捕される</p> <p>9月 京都ゼミナールハウス完成 戦後生れが全人口の過半数となる</p>
<p>12月 同位元素検査室整備完了 21号病舎改修 ラジウム治療病室2室 R I 貯蔵室, 汚染検査室, ラジウム貯蔵室 R I 排水処理槽, ラジウム用浄化槽 頭部用 CT 撮影装置整備 ガンマカメラ測定装置整備</p> <p>2月 研修医募集人員, 88名 伝染病舎廃止 R I 4床開設 病床 一般 612 結核 26 精神 118 計 756床</p>	
<p>4月 伏見分院改築完工式 診療体制/内科, 外科, 小児科, 皮膚科, 耳鼻科 附属看護専門学校寄宿舍(近衛学生寮)の建設開始</p>	<p>4月 大学入試センター発足</p> <p>9月 市電河原町線が撤去</p>

西 暦 (元 号)	京 都 府 立 医 科 大 学 の あ ゆ み
1977 (昭 52)	11月 梨木神社の土地を売り戻す。 与謝の海病院の竣工式 放射線予防規程等の改定 (大学・病院の両部門における予防体制を統一) 12月 共通第一次学力試験 (試行) 実施
1978 (昭 53)	1月 京都府立城陽心身障害者福祉センターが発足 4月 看護専門学校近衛学生寮が竣工 共通第1次学力試験導入に伴い入学試験委員会規程改訂 電話交換室の後に生協の書籍部が移転 9月 京都府立医科大学整備対策委員会の設置 12月 林田知事と教授会の懇談会 整備対策委員会、大学整備構想案を策定
1979 (昭 54)	1月 初の国公立大学共通一次試験 2月 国際児童年の京都府の施策として小児医療センター設置を計画 「京都府立医科大学整備構想」決定 3月 学園紛争での教授会監禁事件判決公判、元学生10人に有罪判決 京都府衛生公害研究所竣工 4月 水越教授学長、吉田忠勝教授進学部長に就任 授業料減免措置が発足 正門、前庭等を整備 楠智一教授が病院長に就任 5月 進学過程の運動場及びテニスコートの整備が完了 御所ロケット砲事件に関連して危険薬品の保管管理の徹底 6月 府立舞鶴子供療育センター竣工 西安市友好都市締結5周年記念として橋本教授が訪中 7月 栗山教授研究部長、岸田教授図書館長に就任 9月 旧本館の名称を学生部棟と変更

附属病院のあゆみ	主な社会の出来事
<p>頭部・腹部血管造影撮影装置整備 全自動血液ガス分析機器整備 全自動肺機能機器整備</p> <p>3月 病舎冷房設備計画（第2次）</p> <p>6月 患者共同洗濯場を旧6号病舎に設置</p>	<p>11月 八幡市制施行（府内11番目） 日本が世界一の長寿国になる。（平均寿命 男72.69歳 女77.95歳）</p> <p>4月 府知事に林田悠紀夫氏初当選</p> <p>5月 成田空港開港</p> <p>8月 日中平和友好条約調印</p> <p>9月 京都市電全面廃止</p> <p>第2次オイルショック インベーダーゲーム流行 ソニー「ウォークマン」発売</p>
<p>3月 修練医の定数が85名から95名に増員</p> <p>消防設備（スプリンクラー）整備 病舎冷房設備計画（第3次）</p>	
<p>6月 附属看護専門学校校舎及び寄宿舎等整備完成式挙行 第1期整備工事（中央診療棟の建設）中央診療棟実施設計案完成</p>	<p>6月 第5回先進国首脳会議 東京サミット</p> <p>10月 WHO「天然痘絶滅宣言」</p>

西 暦 (元 号)	京 都 府 立 医 科 大 学 の あ ゆ み
1979 (昭 54)	<p>11月 財団法人青蓮会20周年記念式典，京都ホテルで開催 新設福井医科大学教員として，本学から教授7名が内定</p> <p>12月 進学課程のカリキュラムを一部改正，単位未修得者の仮進級制度を廃止</p>
1980 (昭 55)	<p>1月 大学整備基本計画を策定 京都府立医科大学雑誌投稿規程及び同取扱細則を改正</p> <p>2月 立命館大学広小路用地の買収契約締結（35億5千万円） STUDIA HUMANA を STUDIA HUMANA et NATURALIA に変更</p> <p>3月 職員健康審査会規程の制定</p> <p>4月 加藤教授医療センター長に就任 京都府立医科大学医療センターの運営に関する規程の制定 排水水質悪化に伴い，アルカリ洗剤使用を中止し中性洗剤に変更 医療センター学内教員の定数53名に増員 基礎教室を基礎医学，臨床基礎医学，社会医学に区分 庶務課に整備担当主幹を，経理課営繕係が施設課建設係と設備係に，薬剤部に薬品情報係を新設</p> <p>6月 大学院入学試験委員会規程を制定，「専門課程」を「専攻」に改称し，専攻別学生定員を規定 廃棄物処理対策委員会規程の制定</p> <p>7月 山岳部学生が南アルプス荒川岳で転落事故，無事救出 中央診療棟施設工事着工</p> <p>8月 元学友会会長，初代青蓮会理事長古玉太郎氏逝去 「府立小児疾患医療センター（仮称）整備構想」策定</p> <p>9月 進学課程の弓道場の修繕 基礎1号館南東隅に重金属廃棄物保管倉庫および処理装置を設置</p> <p>12月 小児医療センターを大学附属施設とし附属病院玄関前に建設を決定</p>
1981 (昭 56)	<p>2月 中央研究室生化学部門にガスクロマトグラフ質量分析計室を設置 教職員の4週5体制を導入</p> <p>3月 教員に韓国型出血熱患者が発生，臨床共同研究室におけるラットの飼育を停止，ラット600匹を処分</p> <p>4月 森本教授学生部長，高本教授進学部長，宮崎教授看護専門学校長に就任 立命館大学広小路学舎の取得手続き完了 学生企画の学外医療施設見学を大学の課外活動として位置づけ 助教授・講師と学長との懇談会開催</p> <p>5月 第4回全京都医系学生の集い，本学キャンパスで開催 タイ国カンボジア難民医療援助に府立医大チーム派遣（団長大賀講師ほか医師6名看護婦12名）</p>

附属病院のあゆみ	主な社会の出来事
<p>11月 病床 一般 607 結核 26 精神 118 計751床</p> <p>12月 病舎移転 7号(児)→旧20号 8号(婦)→旧19号 臨床検査緊急検査機器導入</p>	
<p>3月 元炊事場, 旧病舎(6号・7号・8号)解体完了</p>	
<p>4月 病床 一般 605 結核 26 精神 118 計 749床</p>	
<p>全身用CT撮影装置(2台)整備 ガンカメラ対向型測定装置整備</p>	<p>10月 国勢調査(府人口 252万7330人, 65歳以上人口 10.2%) 平均寿命(全国) 男73.35歳, 女78.76歳</p>
<p>3月 附属看護専門学校長の選考規程制定, 附属看護専門学校の校長専任とし, 助産婦学校の開設準備開始</p>	<p>3月 健康保険の入院時家族給付を8割に上げ 中国残留日本人孤児が初来日</p> <p>5月 地下鉄烏丸線(京都駅-北大路間)開業</p>

西 暦 (元 号)	京 都 府 立 医 科 大 学 の あ ゆ み
1981 (昭 56)	7月 吉田教授図書館長に就任 林田知事と教授会の懇談会開催 第33回西日本医科学生総合体育大会が本学を総合主管校として開催 第1回全国学友会交流コンパを大阪天神祭に際して開催 8月 小児医療センター起工式 9月 旧立命館体育館が修理を終え使用開始, 体育施設等使用規程を制定 10月 臨床実験動物室を改修 11月 京都府立医科大学整備基本計画を知事が発表
1982 (昭 57)	3月 中央実験動物室の改修・整備 4月 佐野教授学長に就任 入試のあり方検討委員会発足 楠教授小児疾患研究施設長に就任 5月 学友会会長, 第4代青蓮会理事長に谷道之名誉教授就任 創立110周年記念事業計画案承認 7月 腎臓バンク許可 10月 広小路施設の解体工事開始 11月 附属小児疾患研究施設(京都府こども病院)完成 鉄骨鉄筋コンクリート造 地上6階地下1階 建築面積 795㎡ 延べ床面積 3,856.7㎡ 大学創立110周年記念講演会・祝賀会举行

附属病院のあゆみ	主な社会の出来事
<p>8月 「精神2類」看護基準の承認</p>	<p>10月 福井謙一氏ノーベル化学賞受賞</p> <p>12月 京都府第3次府総合開発計画策定 脳血管疾患を抜いて悪性新生物が死因の1位となる。</p>
<p>3月 中央診療棟施設完成 鉄骨鉄筋コンクリート造 地上8階地下1階 建築面積 2,357㎡ 延べ床面積 15,967.7㎡ 中央配管, 冷暖房設備, ベッドサイドに酸素・吸引設備設置</p>	<p>3月 府山城総合運動公園開園</p> <p>4月 府知事に林田悠紀夫氏当選(2選)</p>
<p>5月 中央診療施設への移転 中央手術部, 救急室, 放射線科, 臨床検査部 病舎 1号・15号→A6(一内), 2号・9号→A7(二内・三内)</p>	
<p>6月 中央診療施設稼働 臨床検査部緊急検査室開設 病床 一般 667 結核 26 精神 118 計 821</p>	<p>6月 東北新幹線開業</p>
<p>9月 診療棟一期改修完了 鴨川病舎改修完了(15・16号の1等を3人床に改修)</p>	<p>8月 老人保健法成立</p> <p>9月 高額療養費の自己負担限度額が45,000円に引上げ 日吉ダム建設に事業許可 第三セクター宮福鉄道株式会社設立</p>
<p>10月 外来および病舎移転 病床 一般 572(580) 結核 31(31) 精神 118(118) 計 721(729)床 解体予定病舎閉鎖解体工事着工(21・22・23号病舎9・10・11号病舎)</p>	

西暦(元号)	京 都 府 立 医 科 大 学 の あ ゆ み
1982 (昭 57)	12月 小児疾患研究施設開設, 外科第一部門診療開始 こども6号に15床稼働
1983 (昭 58)	1月 研究用コンピューター委員会を設置 4月 鯖田教授進学部長, 伊地知教授病院院長, 榊田教授医療センター長, 岡田教授看護専門学校長に就任 5月 京都府立医科大学関係病院等協議会がスタート 6月 第3回全国学友会交流コンパ宮島・江田島にて開催 7月 岩島教授研究部長に就任
1984 (昭 59)	6月 京都府立医科大学組換え DNA 実験安全管理規程制定 学友会京都支部より大学支部が分離 7月 第4回全国学友会交流コンパ倉敷アイビースクエアにて開催 10月 基礎医学舎等の基本設計調査を開始
1985 (昭 60)	11月 京都府立医科大学文化学術研究都市対策委員会を設置 西安市医学医療技術考察団来学 2月 陝西省派遣医学研修生を受け入れ 4月 井端教授学生部長, 山本教授進学部長, 瀧野教授医療センター長, 糸井教授看護専門学校長に就任 附属病院伏見分院を附属病院伏見診療所と改称 榊田喜三郎教授病院長に就任

附属病院のあゆみ	主な社会の出来事
<p>12月 病床 一般 572(580) 結核 31(31) 精神 118(118) 小児疾患 15(15) 計 736(744)床 頭部血管造影撮影装置整備</p>	<p>1月 高額医療費の自己負担限度額が51,000円に 引上げ 第1回全国都道府県対抗女子駅伝開催 2月 老人保健法施行(自己負担額 外来1ヵ月 400円,入院1日300円=2月限度)</p>
<p>3月 旧病舎の解体 附属病院棟(第1期)工事着工 4月 看護専門学校に助産学科設置 附属小児疾患研究施設にICU,NICUを開 設 看護婦宿舎として民間マンション「ノース ビレッジ」を借り上げ(40室) 小児疾患研究施設内科部門・外科第二部門 外来診療開始 こども5号・6号の40床稼働</p>	<p>4月 放送大学開学</p>
<p>8月 臨床検査部生化学検査電算化 4月 看護婦宿舎として民間マンション「パレス サイド」を借り上げ(40室) 小児疾患研究施設(京都府こども病院)全 面稼働 病床 一般 572(580) 結核 31(31) 精神 118(118) 小児疾患 59(70) 計 780(799)床</p>	<p>8月 ロッキード事件で田中元首相に有罪判決</p>
<p>5月 看護婦宿舎「天心寮」冷房整備</p>	<p>10月 健康保険法等改定(本人の自己負担割合1 割) 退職者医療制度の創設 国鉄奈良線(京都-木津-奈良間)電化完 成 4月 NTT,日本たばこ産業株式会社発足</p>
<p>5月 看護婦宿舎「天心寮」冷房整備</p>	<p>5月 丹後地域開発計画発表 京都市古都保存協力税創設実施</p>

西暦(元号)	京 都 府 立 医 科 大 学 の あ ゆ み
1985 (昭 60)	<p>7月 川井教授図書館長に就任 第5回全国学友会交流コンパ大津(ミシガンナイト)で開催</p> <p>12月 記念碑「島村俊一邸跡」除幕式</p>
1986 (昭 61)	<p>2月 京都府立医科大学倫理委員会が発足</p> <p>3月 京都府医学振興会が財団法人として認可</p> <p>4月 昭和61年度入試結果女子入学者29名に達した 建築基準規制の見直しに伴い、本部キャンパスに基礎医学舎、広小路キャンパスに附属図書館、合同講義棟、附属看護専門学校等の新たな建築構想</p> <p>6月 オクラホマ大学との間で教育及び学術的協力に関する協定を締結</p> <p>7月 第6回全国学友会交流コンパ北九州にて開催</p> <p>11月 青蓮会館前庭、「遅日の夢」歌碑除幕式</p>
1987 (昭 62)	<p>1月 嶋村基金による研究者助成事業が発足</p> <p>4月 増田教授進学部長、平川教授医療センター長、岡田教授小児疾患研究施設長に就任 臨床検査医学教室を設置 岡田弘二教授が病院長に就任</p> <p>5月 昭和63年度第2次学力試験のA日程実施を決定</p>

附属病院のあゆみ	主な社会の出来事
<p>9月 附属病院病棟（第1期）完成 鉄骨鉄筋コンクリート造地上8階地下1階塔屋付 建築面積 3,033.75㎡ 延べ床面積 25,361.45㎡ 全室のベッドサイドに酸素・吸引設備, 各病舎2室と観察室にエア配管設備整備</p>	<p>8月 日航ジャンボ機が群馬県御巢鷹山に墜落</p>
<p>10月 電算機室改修</p>	<p>10月 関西文化学術研究都市の起工式 国勢調査(府人口 258万6574人, 65歳以上人口 11.2%) 平均寿命(全国) 男74.78歳, 女80.48歳</p>
<p>11月 附属病院が地方腎移植センターに指定される(全国11番目)</p>	<p>12月 心疾患が脳血管疾患を抜いて死因の2位となる。1位は悪性新生物</p>
<p>12月 附属病院病棟（第1期）移転 個室専用料 A個室 13,000円 B個室 5,000円 C個室 3,000円 D個室 2,000円 心臓血管造影撮影装置整備 デジタルガンマカメラ測定装置整備 ガンマカメラ移動型測定装置整備</p>	<p>地価高騰</p>
<p>3月 外来診療施設改修工事着工</p>	<p>4月 男女雇用機会均等法施行 府知事に荒巻禎一氏初当選</p>
<p>4月 診察券のIDカード化実施 「結核・精神1類」看護基準の承認</p>	<p>5月 高額療養費の自己負担限度額が54,000円に引上げ チェルノブイリ原子力発電所で大事故発生 東京サミット ハレー彗星接近</p>
<p>5月 病床 一般 622(669) 結核 24(24) 精神 118(118) 小児疾患 59(70) 計 823(881)</p>	<p>6月 外来会計電算化実施</p>
<p>9月 病棟第2期分の基本設計が完成</p>	<p>1月 老人保健一部負担金の引上げ(外来800円/月, 入院400円/日)</p>
<p>11月 鴨川病舎, 記念講堂の解体工事始まる 全身用CT撮影装置整備</p>	<p>4月 国鉄6分割・民営化発足</p>
<p>1月 外来診療施設改修完了, 移転 改修面積延べ 65,432㎡ 臨床棟の一部 診療棟2・3期 1科平均 280㎡</p>	<p>5月 京阪電鉄(東福寺一三条間)地下化開業</p>
<p>3月 鴨川病舎解体工事着工 築山寮改修完了</p>	

西 暦 (元 号)	京 都 府 立 医 科 大 学 の あ ゆ み
1987 (昭 62)	<p>7月 第7回全国学友会交流コンパ大阪天神祭で開催 昭和63年度入試の面接実施を決定 大学院学則の一部改正を承認（主科目及び選択科目の内科系に臨床検査医学を追加）</p> <p>9月 附属小児疾患研究施設の教授配置を決定</p> <p>10月 オクラホマ大学への医療視察団派遣の決定（佐野団長と近藤、渡辺教授）</p>
1988 (昭 63)	<p>3月 大学院特別聴講学生交流規程及び大学院特別研究生交流規程の制定</p> <p>4月 藤田教授学長、栗山教授研究部長、中嶋教授医療センター長に就任 入試A日程を決定 4週6休制の施行開始</p> <p>7月 大学院主科目・選択科目に小児内科学と小児外科学を追加 小児疾患研究施設内科部門及び外科第一部門の教室設置</p> <p>11月 オクラホマ大学との研究員交流決定（派遣は第二内科より、受け入れは産婦人科へ）</p> <p>12月 専門課程カリキュラム改正：総授業時間数の削減、土曜休講、診断学・総合講義の導入、臨床実習時期変更など</p>
1989 (昭 64) (平 元)	<p>1月 「精神科応急入院施設管理」施設基準の届出</p> <p>4月 古村教授学生部長、斎藤教授進学部長、渡辺教授看護専門学校長に就任 実験動物舎（小動物舎新設、犬舎改修）改築、移転</p> <p>7月 近藤教授図書館長に就任</p>

<p>附属病院のあゆみ</p>	<p>主な社会の出来事</p>
<p>7月 鴨川病舎解体完了 入院会計（こども病院）電算化実施</p>	
<p>10月 入院会計電算化実施 臨床講義棟・附属病院病棟（第2期）工事 着工</p>	<p>10月 利根川進氏ノーベル医学・生理学賞授賞</p>
<p>全身用MRI撮影装置整備 全自動肺機能検査機器整備</p>	<p>11月 世界歴史都市博開催 京都国体開催</p>
<p>1月 「在宅酸素療法指導管理」施設基準の届出</p>	<p>2月 京都縦貫自動車道（西京区一亀岡市間）開 通 京都府高齢化対策大綱（SKYプラン）策 定</p>
<p>3月 附属病院高度先進医療専門委員会の設置と 同規程の制定 入院患者給食の6時配膳実施</p>	<p>3月 古都保存協力税廃止 リクルート事件発生</p>
<p>9月 「在宅自己導尿指導管理」施設基準の届出</p>	<p>7月 第43回京都国体開催</p>
<p>11月 病床 一般 621(669) 結核 24(24) 精神 118(118) 小児疾患 59(70) 計 822(881)</p>	<p>10月 京都府情報公開制度がスタート 全国身体障害者スポーツ大会開催</p>
<p>生化学自動分析機器整備 免疫化学検査機器整備</p>	<p>1月 昭和天皇崩御 平成に改元 高額医療費の自己負担限度額が57,000円に 引上げ 2月 「KYOのあけぼのプラン」策定 3月 京都府高齢者大学10周年記念式典・講演会 開催</p>
<p>4月 附属病院医事課給食保清係を栄養管理係と 環境保清係に分割</p>	<p>4月 消費税導入 5月 京都府第2・第4土曜日の閉庁実施</p>
<p>8月 附属病院病棟（第2期）工事完成 鉄骨鉄筋コンクリート造 地上8階、地 下1階 建築面積 1,475㎡ 延べ床面積 12,322㎡</p>	

西暦(元号)	京 都 府 立 医 科 大 学 の あ ゆ み
1989 (昭 64) (平 元)	<p>9月 第8回全国学友会交流コンパ熱海グランドホテルにて開催</p> <p>10月 老化を考える府民医学講演会開催(京都商工会議所)</p> <p>11月 進学課程カリキュラムを改正:必要単位数・時間数の削減,ゼミ導入,土曜休講など 青蓮会創立30周年記念式典開催,記念テレホンカード発行</p>
1990 (平 2)	<p>1月 陝西省へ医療視察団の派遣(中川教授,本庄助教授) 老化を考える府民医学講演会・パネルディスカッション開催(京都産業会館) 共通一次試験に代わり,第1回大学入試センター試験実施</p> <p>4月 古村教授学生部長,斎藤教授進学部長に就任 京都府立医科大学附属脳・血管系老化研究センター設立準備委員会規程及び設立計画案作成</p> <p>5月 オクラホマ大学総長夫妻来学</p> <p>8月 第1回京都府立医科大学公開講座開催(南臨床講義室)</p> <p>9月 京都府立医科大学受託研究取扱規程等の制定 京都府立医科大学附属脳・血管系老化研究センター規程等の制定</p>

附属病院のあゆみ	主な社会の出来事
<p>9月 精神病棟改修完了 病床 一般 621(669) 結核 24(24) 精神 90(93) 小児疾患 59(70) 計 794(856)</p>	<p>9月 京阪電鉄鴨東線開業</p>
<p>11月 病棟1期排水中和設備設置 臨床検査部日・祝日の緊急検査を開始，生理検査電算化</p>	<p>11月 ベルリンの壁撤去</p>
<p>12月 個室専用料(特室)の新設 特室25,000円 附属病院病棟(第2期)へ移転・稼働 病床 一般 620(673) 結核 24(24) 精神 90(93) 小児疾患 59(70) 計 793(860)床 トレッドミル運動負荷試験機器整備 MRI撮影装置，頭部血管造影撮影装置整備</p>	<p>1月 第4次京都府総合開発計画策定 伊根町沖で貨物船M・ガーディニア号油流出事故発生</p>
<p>4月 ICU 6床稼働 病床 一般 620(679) 結核 24(24) 精神 90(93) 小児疾患 59(70) 計 793(866) 「電磁波温熱療法(放射線治療と併用するもの)」施設基準の承認 「在宅悪性腫瘍患者指導管理」施設基準の届出</p>	<p>3月 京都府の草花に「嵯峨ぎく」「なでしこ」選定 ゴルバチョフソ連初代大統領に就任 全国地価調査公示府内平均は住宅地61.8%で全国トップの急騰 JR山陰本線(京都一園部間)電化</p>
<p>5月 医療廃棄物管理規程の制定 「MRSAによる院内感染予防の手引き」作成</p>	<p>4月 府知事に荒巻禎一氏当選(2選)</p>
<p>6月 附属病院案内表示板設置 旧臨床講義室カルテ庫改修 「在宅中心静脈栄養法指導管理」施設基準の届出</p>	<p>6月 ㈱京都SKYセンター設立 国保法改正，国・都道府県・市町村の財政支援による保険基盤安定制度が確立</p>
<p>8月 こども病院搬送機設備整備</p>	
<p>9月 院内感染対策委員会設置</p>	

西 暦 (元 号)	京 都 府 立 医 科 大 学 の あ ゆ み
1990 (平 2)	<p>11月 第9回全国学友会交流コンパ有馬にて開催 附属脳・血管系老化研究センター設置</p>
1991 (平 3)	<p>12月 図書館・合同講義棟の起工式</p> <p>1月 老化を考える府民医学講演会開催 (京都商工会議所ホール) 3月 中央研究室 NMR 室を設置 4月 湯浅教授進学部長, 岡教授病院長・小児疾患研究施設長に就任 岡隆宏教授病院長に就任 基礎医学舎建設基本設計</p> <p>5月 三水会創立20周年ならびに例会200回記念会開催</p> <p>6月 基礎医学舎建設基本設計配置案完成 7月 第2回京都府立医科大学公開講座開催 (臨床講義室)</p> <p>9月 第10回全国学友会交流コンパ京都国際ホテルにて開催 医学士, 医学博士の英語訳の明文化 京都府立医科大学臨床医学学舎共用研究室運営委員会規程の制定承認</p> <p>10月 医療センター20周年記念式典開催 11月 老化を考える府民医学講演会開催 (京都商工会議所ホール)</p>
1992 (平 4)	<p>3月 臨床医学学舎・外来診療棟改修工事完了 電話設備ダイヤルイン方式に変更 4月 阿部教授研究部長, 安野教授医療センター長に就任</p>

附属病院のあゆみ	主な社会の出来事
<p>10月 「特3類（B3病舎）」結核・精神基本1類に係る看護基準の承認 「特定集中治療室管理」「理学療法（II）」「老人理学療法（II）」に係る施設基準の承認</p>	<p>10月 国勢調査（府人口 260万2,460人，65歳以上人口 12.6%） 平均寿命（全国）男75.92歳，女81.90歳</p>
<p>11月 中央診療施設・病棟（第1期）等改修完了 中診，病棟（第1期），外来診療棟地階，搬送機設備改修 病床 一般 660(719) 結核 24(24) 精神 90(93) 小児疾患 59(70) 計 833(906)床</p>	
<p>12月 休日・時間外収納業務委託 一般検査自動分析機器整備</p>	
<p>1月 救急受付一般放送用リモコンマイク設置</p>	<p>1月 湾岸戦争勃発</p>
<p>4月 附属病院中央手術部副部長を専任化 附属脳・血管系老化センターの施設整備完了 看護部の職位名を変更 臨床医学学舎・外来診療棟等改修工事着工 老年内科外来開設 「薬剤管理指導」「作業療法（II）」「老人作業療法（II）」に係る施設基準の承認</p>	<p>3月 舞鶴自動車道（福知山―舞鶴西間）開通</p>
<p>5月 附属病院病棟全面稼働 病床 一般 769(834) 結核 24(24) 精神 90(93) 小児疾患 59(59) 計 942(1020)床</p>	<p>5月 高額療養費の自己負担限度額が60,000円に引上げ 京都みどりの祭典（第42回全国植樹祭）開催</p>
<p>7月 老人性痴呆診断センター設置 「在宅自己腹膜灌流指導管理」施設基準の届出</p>	<p>7月 雲仙普賢岳噴火・火砕流発生</p>
<p>11月 臨床検査部，24時間体制での緊急検査体制開始 全自動免疫分析機器整備</p>	<p>9月 老人保健法改正，老人訪問看護制度がスタート</p>
<p>1月 「重症者等の特別の療養環境」施設基準の承認</p>	<p>12月 京奈道路（田辺西―精華下伯間）開通 臨時脳死及び臓器移植調査会最終答申</p>
<p>4月 個室専用料の改定 特室27,000円，A個室14,000円 「加算入院時医学管理料」の届出（全病舎）</p>	<p>1月 老人保健一部負担金の引上げ（外来900円／月，入院600円／日）</p>

西 暦 (元 号)	京 都 府 立 医 科 大 学 の あ ゆ み
1992 (平 4)	<p>9月 第11回全国学友会交流コンパ芦原温泉にて開催 陝西省医学医療視察団派遣(藤田学長, 阿部, 高橋, 尾内教授, 西村庶務係長) 老化を考える府民医学講演会開催(福知山市民会館) 第3回京都府立医科大学公開講座開催(本学図書館ホール)</p> <p>10月 第2回老化を考える府民医学講演会開催(本学図書館ホール)</p> <p>11月 附属図書館完成・本学創立120周年記念式典開催(本学図書館ホール) 健康と環境を考える府民の集い開催(京都グランドホテル)</p> <p>12月 小児疾患研究施設(京都府こども病院)開設10周年記念式典挙行</p>
1993 (平 5)	<p>4月 外山教授学生部長, 森山教授進学部長, 近藤教授病院長・小児疾患研究施設長 に就任 附属医療技術短期大学部発足, 岡田教授短期大学学部長就任</p> <p>6月 第12回全国学友会交流コンパ白浜にて開催</p> <p>9月 平成5年度第1回老化を考える府民医学講演会開催(舞鶴市総合文化会館) 第4回京都府立医科大学公開講座実施(本学図書館ホール) 動物実験指針決定</p> <p>11月 平成5年度第2回老化を考える府民医学講演会開催(本学図書館ホール) 専門課程カリキュラム改正: 総合講義の充実</p>
1994 (平 6)	<p>1月 卒業生に対する学長賞制定 日本ネットワーク情報センターにドメイン名 kpu-m.ac.jp を申請</p> <p>2月 附属病院長職と産業医の分離, 文書のA4版化開始</p> <p>3月 病院教授制度の創設(歯科学)</p> <p>4月 栗山教授学長, 高橋教授図書館長, 中川教授医療センター長に就任 京都府立医科大学基礎医学学舎新築工事起工式 自己点検・評価委員会の診療活動ワーキンググループ設置</p>

附属病院のあゆみ	主な社会の出来事
<p>6月 臨床検査部電算化 各病棟に端末装置設置</p> <p>8月 外来診療週5日体制開始 「在宅自己疼痛管理指導」施設基準の届出</p>	<p>6月 京都府, エイズ患者・感染者数を初公表</p> <p>8月 京都府, 完全週休2日制を実施 京都府, 訪問看護ステーション開設</p>
<p>11月 B8病舎に無菌室を整備 (平成5年2月に第1回目の骨髄移植を実施) 外来診療棟喫煙室設置 病床 一般 764(829) 結核 24(24) 精神 90(93) 小児疾患 59(59) 計 937(1005)</p> <p>12月 「在宅成分栄養経管栄養法指導管理」施設 基準の届出 自動尿定性装置整備 ライナック照射治療装置整備 骨塩定量測定装置整備</p>	<p>4月 老人保健一部負担金の引上げ(外来1,000円 /月, 入院700円/日)</p> <p>5月 高額療養費の自己負担限度額が63,000円に 引上げ</p> <p>8月 伊良子清白「孔雀船」岩波文庫より復刻</p>
<p>12月 中診手術部クリーン手洗い器設置 「特3類(一般9病棟)」看護基準の承認 X線CT撮影装置・腹部血管造影撮影装置 整備</p> <p>1月 「夜間看護等加算」看護基準の承認(全病 棟)</p> <p>3月 自動水栓, 温風乾燥機設置</p> <p>4月 「夜間勤務等看護(II)」看護基準の承認(全 病棟)</p>	<p>10月 乳幼児医療助成制度創設 第6回全国健康福祉祭京都大会「ねんりん ピック'93京都」開催</p>
	<p>3月 府立陶板名画の庭オープン 京都府高齢者保健福祉計画策定</p> <p>4月 府知事に荒巻禎一氏当選(3選)</p>

西 暦 (元 号)	京 都 府 立 医 科 大 学 の あ ゆ み
1994 (平 6)	<p>5月 学友会会長, 第5代青蓮会理事長に吉田幸雄名誉教授就任 英語, ドイツ語教室の廃止, 第一, 第二語学教室に変更</p> <p>9月 老化を考える府民医学講演会開催 (本学図書館ホール)</p> <p>平成9年度入試の分離分割方式移行を決定</p> <p>10月 第5回京都府立医科大学公開講座実施 (本学図書館ホール) 西安市医療視察団派遣 (澤田教授, 大熊助教授) 第13回全国学友会交流コンパ奈良にて開催</p> <p>11月 老化を考える府民医学講演会開催 (けいはんなプラザ)</p> <p>12月 インターネット専用回線を京大情報センターと接続 京都府立医大ホームページ開設 学内用メールサーバーkoto 運用開始</p>
1995 (平 7)	<p>1月 阪神・淡路大震災発生 芦屋市へ医療支援団派遣 (1月18日～3月31日 延べ 311人派遣) 学友会兵庫南部地震募金活動実施</p> <p>3月 附属看護専門学校看護科を廃止 京都府立医科大学将来構想検討委員会設置 京都府立医科大学医療技術者養成構想検討委員会設置 自己点検・評価委員会設置と規程制定 人間を直接対象とする医学研究を研究委員会にて審査開始</p> <p>4月 有菌教授学生部長, 前田教授図書館長, 平澤教授医療センター長, 中川教授病 院長・小児疾患研究施設長に就任 第2学年6名ドイツ語1科目で留年</p> <p>8月 英国ロージアン県へ医学医療使節団派遣 (学長, 学生部長, 図書館長, 進学部 長及び医事課長)</p> <p>9月 脳死判定委員会を設置, 脳死判定実施要綱を制定 オウム事件取材への対応について討議 創立125周年記念行事として, 資料整理を開始</p> <p>10月 進学課程教員の大学院教育参加を決定 陝西省医学医療視察団本学を視察 第14回全国学友会交流コンパ熱海で開催予定のところ群発地震のため中止</p> <p>12月 125周年記念事業準備会開催</p>

附属病院のあゆみ	主な社会の出来事
<p>6月 京都府保健医療計画策定</p> <p>9月 「B型肝炎及びC型肝炎予防の手引き」作成</p> <p>10月 入院時食事療養費制度創設</p> <p>11月 部分的な病床混合利用を暫定的に運用開始 「3対1看護・6対1看護補助」看護基準の承認(結核・精神病棟)</p> <p>生化学自動分析機器整備</p>	<p>9月 第11回全国都市緑化きょうとフェア開催</p> <p>10月 大江健三郎氏ノーベル文学賞受賞</p> <p>11月 平安建都1200年記念式典開催</p> <p>12月 主要死因(総数に対する割合) 1位 悪性新生物(27.8%) 2位 心疾患(18.2%) 3位 脳血管疾患(13.7%)</p> <p>1月 阪神・淡路大震災発生</p>
<p>3月 屋上ヘリストップ整備</p>	<p>3月 地下鉄サリン事件発生</p> <p>4月 老人保健一部負担金の引上げ(外来1,010円/月) 府立総合社会福祉会館(ハートピア京都)完成</p>
<p>7月 附属病院病室侵入及び監禁事件発生, 警備体制を強化</p> <p>北病棟(精神)改修工事着工</p> <p>エイズ拠点病院に選定</p> <p>病床 一般 764(829) 結核 24(24) 精神 —(—) 小児疾患 59(59) 計 847(912)</p>	<p>7月 京都府地域防災計画第1次見直し 村山社会党首班内閣成立</p>
	<p>10月 国勢調査(府人口 262万9,592人, 65歳以上人口 14.7%) 平均寿命(全国)男76.36歳, 女82.84歳 京都府福祉のまちづくり条例施行</p> <p>12月 京都府環境を守り育てる条例公布</p>

西 曆 (元 号)	京 都 府 立 医 科 大 学 の あ ゆ み
1996 (平 8)	<p>1月 附属伏見診療所が閉鎖 進学部長を教養教育部長に改称</p> <p>4月 今西教授研究部長に就任 教養教育期間を2年1学期までとし2年2学期より専門教育を開始 陝西省より研究生2名受け入れ 図書館雑誌購入費一部教室負担 医療技術短期増部に専攻科を設置</p> <p>5月 学生実習設備費を基礎医学学舎新築に伴う教育備品等の購入に充当</p> <p>7月 基礎医学学舎(第1期)竣工 創立125周年記念事業実行委員会発足 入学試験成績の簡易開示を決定</p> <p>9月 附属脳・血管系老化研究センターに「疾病予防・疫学部門」を設置 インターネット運営委員会発足</p> <p>10月 人間を直接対象とする医学研究実施取扱規程制定 第15回全国学友会交流コンパ米子にて開催</p> <p>11月 創立125周年記念事業募金開始</p> <p>12月 自己点検・評価委員会の診療活動ワーキンググループ中間報告</p>
1997 (平 9)	<p>1月 自己点検・評価報告書の発刊 公立医科大学等経常費国庫補助金が廃止される</p>

附属病院のあゆみ	主な社会の出来事
遺伝子検査機器、自動血沈測定器整備	
3月 震災対策として、外来診療棟昇降機耐震設備、応急浄水器等の整備 北病棟（精神）改修完了稼働	1月 京都府新しい行政推進大綱策定
病床 一般 764(829) 結核 24(24) 精神 43(45) 小児疾患 59(59) 計 890(957) 「精神科応急入院施設管理」施設基準の届出	3月 山陰本線・宮福線等電化・高速化開業 京都府障害者基本計画「ひとりだち～京都から～」21プラン策定
4月 附属病院が特定機能病院として承認される 輸血部部長を専任化 応急浄水機器等の整備 「補綴物維持管理料（歯）」の届出、「紹介患者加算（Ⅲ）」施設基準の届出 「夜間勤務等看護（Ⅰ）a」（12病舎）、「夜間勤務等看護（Ⅰ）b」（6病舎）、「夜間勤務等看護（Ⅰ）c」（6病舎）に係る看護基準の届出	4月 老人保健一部負担金の引上げ（外来1020円／月、入院710円／日） 京都縦貫自動車道（亀岡市～丹波町間）が開通 京都府民総合交流プラザ開館
5月 「新看護基準に係る2対1看護」の届出（全病棟）	5月 京都府地域防災計画二次見直し 6月 高額療養費の自己負担限度額が63,600円に引上げ
7月 放射線障害予防規程一部改正：災害施設点検措置を追加 救急室の夜間保安職員常駐開始 医大に京都府O-157相談窓口開設 相談 延767件、入院13人、受診 延345人（7～12月）	
8月 「HIV院内感染予防の手引き」作成 「高度難聴指導管理」施設基準の届出	
10月 中央診療棟、外来診療棟等に自動水栓設置 入院時食事療養費の引上げ（一部負担金一般 760円／日）	10月 京都府個人情報保護制度がスタート
11月 治験の特定療養費化（新規約分） X線CT撮影装置更新	12月 平均寿命（全国） 男77.01歳，女83.59歳
1月 外来診療棟喫煙室にエアークリーナー設置 外来カルテ1号様式改正 「院内感染防止対策」、「検体検査管理」に係る施設基準の届出	1月 ナホトカ号油流出事故 府からボランティア派遣
2月 病棟等に自動水栓設置	

附属病院のあゆみ	主な社会の出来事
<p>3月 手術室にアイソレーションモニター設置 病院内ダクト整備清掃 放射線科撮影室改修工事実施 附属伏見診療所廃止</p>	<p>3月 「医薬品の臨床試験の実施の基準に関する省令」(新GCP)公布</p>
<p>4月 抗悪性腫瘍剤院内取扱指針を策定</p>	<p>4月 京田辺市制施行</p>
<p>7月 病原性大腸菌O-157院内対応マニュアルを策定 「画像診断管理」施設基準の届出</p>	<p>9月 健康保健法等の改正 薬剤費の定額負担導入, 社保本人の自己負担割合が1割→2割に引上げ, 老健一部負担金改定</p>
<p>12月 治験取り扱い規程及び治験審査委員会規程を改正。役割責任の明確化, インフォームド・コンセントの明確化, 管理システムの明確化等</p>	
<p>2月 附属病院駐車場の建設予算が認められる</p>	
<p>3月 看護婦宿舎「みずき寮」改修工事実施 「みずき寮・築山寮」管理規程の制定 京都府立医科大学看護婦宿舎(借り上げ住宅)管理規程の制定 看護婦宿舎「天心寮」閉鎖</p>	